

国鉄「分割・民営化」反対ノ三里塚二期工事阻止ノ

動労水戸が怒りのスト決起%30



動労水戸がついに怒りの反撃を開始した。

この間の水戸支社・鉄道労連と一体となつてし
かけられてきた動労水戸、動力車労組、国労に対
する違法・不当な攻撃に、水戸支社内三〇〇〇名
の国鉄労働者の怒りを代表し、動労水戸がストラ
イキに決起したのだ。とりわけ、この間、その不
当な攻撃は動労水戸に集中してきた。水戸支社は
「分割・民営化」その日、昨年四月一日、辻川委
員長ら三名の組合員に対し、水戸から二時間もか
かる遠隔地への強制配転をはじめ、実に組織の七
五%におよぶような強制配転や、夏季輸送時の「
海の家」への強制出張、さらには「運転保安」要
求の団交時に当局は、「スペースシャトルも事故
を起こす（だから事故が起きて当然）」と完全
に開き直るなどの攻撃が相次いできた。また、こ
の九月にはベンディング（自販機のカンジューズ
補充）、グリーンサービスセンター（観葉植物の
リースなど）、委託業務の直轄化（休養室のベッ
ト整備、浴室・トイレ掃除など）に二三名（動労
水戸六名を含む）の不当配転を強行しようとして
きたのだ。これらの攻撃を断じて許さず、ストラ

日刊
動労千葉

1988.10.14

No. 2907

国鉄千葉動力車労働組合

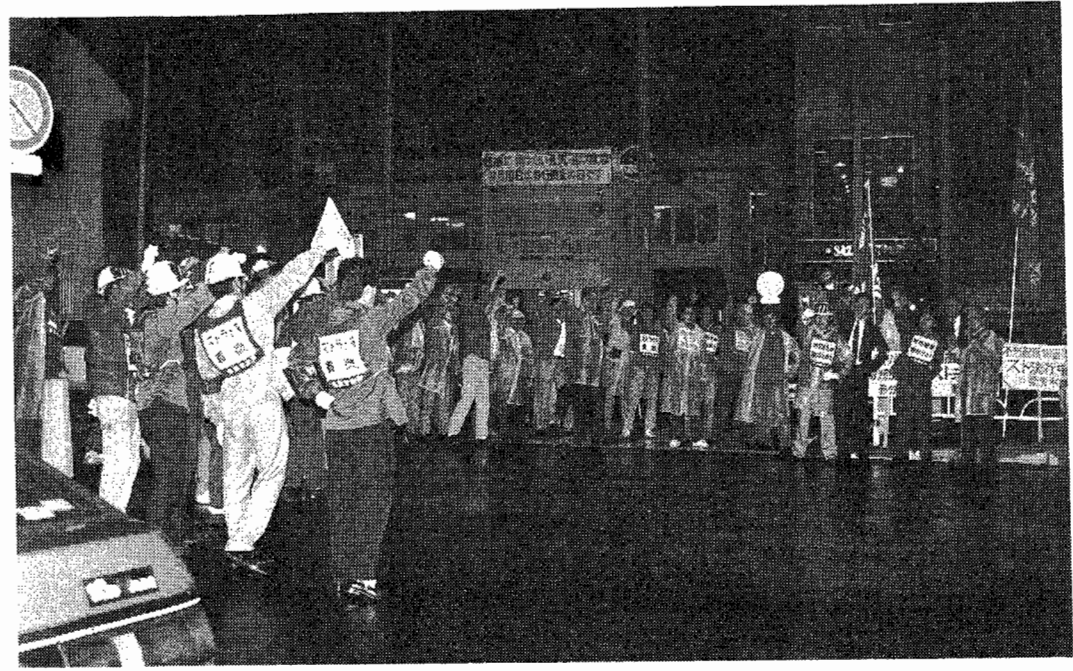
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五六（公衆）〇四七二二七二〇七

イキに決起した。

九〇名の大結集で

勝田駅を制圧！

九月三〇日、水戸駅のとなり勝田駅では、夕刻より動労水戸ストライキ支援のために、動労水戸を先頭に続々と労働者・市民が集まり実にその数は九〇名にふくれあがった。さながら動労千葉の千葉駅ストの再現である。直営店「ミート」に不当にも配転された指名スト当該の曲山君は、この間「後のことを考えてやっているのか」とどう喝を加えてきた勝田駅々長に「組合指令にもとづきストに入ります」と力強く宣言。また、動労水戸は、このストに至る期間を、スト支援の「署名、カンパ」を職場で取り組み、他労組の組合員が「動労水戸のように闘わなくては」という声巻き起こる。動労水戸の第一波ストは圧倒的成功をかちとった。



全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！